

事業報告書

1 支援団体名	本明川を語る会
2 事業名称	第5回諫早大水害を語り継ぐ～7月25日を忘れない～
3 実施日時	平成25年7月20日(土) 13:30～16:00
4 実施場所	諫早市民センター
5 事業目的、内容及びその効果	<p>(事業実施状況・内容)</p> <p>諫早大水害を風化させないために、体験者手記朗読や体験者談などを通して、その災禍を語り継ぎ、安全・安心なまちづくりを目指す。</p> <p>(1) 諫早大水害記録映画上映 『自衛隊の復旧活動』 『米苗植えによる食糧確保の取り組み』</p> <p>(2) 体験者手記朗読 『農業再建をめざして』池田正作～朗読ボランティア青葉会 『母を助けようともがく父』松本憲治作～諫早コスモス音声訳の会</p> <p>(3) 体験者談：井上壽雄(金谷町自治会長)、中山卓久(元諫早市職員)</p> <p>(4) 自治会防災の取り組み発表 中村眞夫(多良見町丸尾二区自治会長)～崖崩れを想定した発表～</p> <p>(5) 本明川の歌：『本明川に捧ぐ』(コールすみれ) 『せせらぎの詩』(葡萄の会) 『とってもしっかりなもの』(コールすみれ、葡萄の会)</p>
	<p>(事業実施効果)</p> <p>(1) 5回目の事業であったが、今後とも継続することの重要性が確認された。</p> <p>(2) この事業を通して、水害の恐ろしさ・生命の尊さが再認識され、日ごろの防災対策の必要性など防災意識の高揚が図られた。</p> <p>(3) 今回は特に自治会の防災の取り組みを発表してもらった。地域の自主防災の取り組みが余り進んでいないので一定のインパクトがあったと思われる。</p>
6 参加内訳	総人数 252名
	(1) 主催者参加 36名
	(2) 日本人参加((1)を除く) 216名
	(3) 外国人参加((1)を除く) 0名
7 今後の方針	<p>(1) この事業の成果・課題などを検証し、内容を充実させる。 地域自主防災活動や高齢者・障害者・子供等の避難対策を考えたい。</p> <p>(2) 行政との協働体制を維持する。今回から諫早市も「本明川を語る会」のメンバーになった。</p> <p>(3) 助成金を活用して、必要経費を確保する。</p>

状況写真（聴講状況）



状況写真（諫早大水害記録上映）



状況写真（朗読）



状況写真（水害体験者談）



状況写真（自治会防災の取り組み）



状況写真（本明川のうた）

